

# 清明学園同窓会 トンボ通信

第3号



令和元年の出発にあたって  
同窓会名誉会長 浅野輝一

同窓会の使命・創立90周年を迎えて  
同窓会会長 藤井 俊一

清明学園卒業生の皆様におかれましては、新元号令和を迎え、益々ご健勝にてご活躍のことと思います。

今、時代は大きく変化してきています。しかし、いつの時代でも子どもたち一人ひとりが持っている力を信じ伸ばすことが教育の真髄であることに変わりありません。濱野教育は一貫してこの考えを実践してきました。今の時代だからこそ必要な教育哲学でありましょう。

重郎先生の語録に、「子どもの心の中に、我が魂が生きているか・・・」があります。1〜2カ月毎に開催される同窓会の理事会の席で、「清明学園で受けた教育が、社会に出て大きな自信になっている」というお話がよく聞かれます。これは正に、重郎先生の想いが生きている証ではないでしょうか。

私たちが清明学園の同人は、このことを絶えず心に刻み、日々子どもたちと向き合っていかなければならないと痛感しております。これからも同窓会の皆様のお力添えを頂きながら、私たちは学園教育のよりよい発展のために力を尽くしていきたく強く念じております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

4年前の7月、濱野富美子先生に同窓会再構築のお話を伺い、同窓会の活性化をお引き受けいたしました。その時、富美子先生の言われたことは未だ鮮明に覚えております。お話は、創立者濱野重郎先生の教育方針、即ちそれは「子供の個性、力、能力の違いは当り前、一人一人の子供の成長を支援する、即ち『子供と共に生き、子供を生かし、子供を通じて生きる』」とのことをお言葉をいつまでも存続させることをサポートして欲しいとのことであり、どんなに世界が変わろうとも重郎先生の教えは変わってはなりません」ということでした。

富美子先生のご意志に沿い、同窓会のテーマは『清明学園 is forever』清明学園は永遠なり』といたしました。一昨年4月1日に再構築された当同窓会は重郎先生・富美子先生のご意志を具現する清明学園における重要な組織のひとつなのです。富美子先生ご誕生の年に清明学園は創立されました。重郎先生の教えは富美子先生に、そして浅野輝一現理事長に受け継がれ、時間と空間を超え、今に生きています。宝とし遺伝子として永遠にその輝きを失うことはないでしょう。

令和元年 6月発行  
発行  
清明学園 同窓会  
〒145-0066  
大田区南雪谷三丁目  
12-26  
学校法人 清明学園内  
会長 藤井俊一  
発行人 千葉精一

同窓会QRコード  
《ホームページ》  
<http://seimei-dousoukai.com>  
《メールアドレス》  
seimei.dousoukai@gmail.com

## 入学式 初等学校校長 横山 豊治

清明学園は、令和2年には創立90周年を迎えます。当同窓会は学園の90周年記念事業の一端に寄与するべく、全力を挙げ活動いたします所存です。とんぼっ子の皆様には、今まで同様ご協力ください。今よう、何卒宜しくお願い申し上げます。

4月5日、今年は桜満開での入学式となりました。1年生の学級名は、桐組と蔦組です。大きめの制服に包まれた皆さんの1年生が今年も入学してきました。



祝辞を述べる同窓会 橋本副会長

## 新入生を迎える会 中学校校長 鈴木 敏弘

式では、国歌斉唱の後、理事長式辞、校長式辞と続き、来賓祝辞として、後援会川添会長の後、同窓会橋本繁樹副会長からも祝辞をいただきました。また、同窓会より鈴木英男理事と高田都耶子理事にもご出席いただき、大変華やかな式となりました。最後は在校生と全教職員で学園歌を斉唱し、新しい門出をみんなでお祝いしました。

初等部入学式の翌日、4月6日に清明桜満開の中で、中等部新入生を迎える会を開催しました。今年には新6年生65名に加えて、7年生に12名、8年生に1名の合計78名が中等部に進級、転入しました。学園の教育理念に賛同された方、またソフトテニス部の数年に亘る大活躍の成果(平成30年度は男子団体戦全国制覇)もあり、途中転入を希望される方が年々増えています。また、平成30年度進学状況も、生徒それぞれの第一希望校への合格が7割近くとなり、学力難関校へも3割近くの生徒が進学しました。日々の諸活動も、生徒会主催の行事である体育祭、発表会、合唱コンクール等々、各実行委員が、少しでも前年を超えられよう懸命に計画立案しています。ぜひ同窓会の

## 清明幼稚園の今 園長 濱野道子

皆様にも学園に足を運んでいただき、ご参観いただければと願っております。

清明幼稚園は、初等部創立の3年後、子どもの教育は幼児の時代からという創立者の思いから、1933年に開園いたしました。平成最後の修了式で計5049名の園児が幼稚園から巣立っていききました。時代とともに幼児教育も大きく変貌を遂げています。そのため、幼稚園でも、運動会を始めとする行事の改革、保育内容の見直し、保育時間の延長などを行ってきました。創立当初から受け継がれている子どもに対する温かい思いを根底に、一人ひとりの子どもにしっかりと目を向け、成長を踏まえて行っております。また、保育者全員で全園児を見ていく姿勢で、毎日子どもと向かい合っております。卒業生の皆様のお知り合いで、ご入園をご検討されている方にも、この思いを伝えて頂ければ幸いです。また、同窓会の活動にご尽力されております藤井会長を始め、諸先輩方にお礼を申し上げますと共に、今後は、ご教授頂きながら、少しでもお力になれますよう、努力していきたくと思っております。

ホームページをご覧ください  
メールアドレスの登録に  
ご協力ください